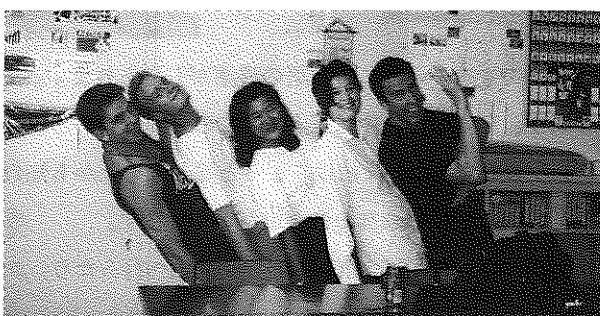


NEWSLETTER

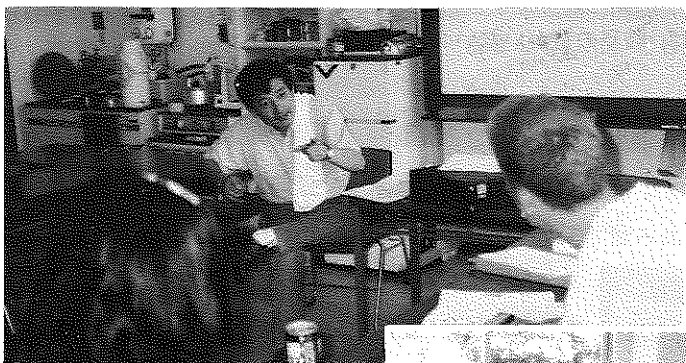
No. 12

岐阜大学国際交流室 1991年9月26日発行

岐阜大学サマースクール '91



スウェーデンのルンド大学を迎えての岐阜大学サマースクールも今年で4回目を数え、約2ヶ月のスケジュールを無事終えることができた。(表1参照)



イクスカーションを含む3週間の日本文化、日本事情の特別講義が彼らの中でどのように消化され、また今後どのように作用してくるのだろうか。帰国前に彼らの日本に対する印象と感想を聞いてみた。

今年の夏は例年に比べて心もち涼しかったということもあって、彼らにとっても十分楽しめるサマースクールであったようだ。

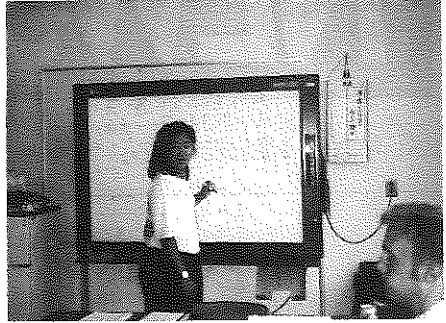
5週間に及ぶ日本語の集中講座と、京都・奈良、高山への✓



マリア・オルソン

日本へ来て、最初の印象は人が大勢いることでした。五月二十九日に成田空港に着きました。東京には三日いました。あそこで買い物をしたり、お寺を見たり、「ろっぽんぎ」に遊びに行ったりしていました。

六月一日新幹線と「JR」で岐阜まで来て、タクシーで岐阜大学の国際交流室へきました。寮が今年の宿舎です。



サマースクールは八週間です。一週間に日本語の授業が五日あります。それから、時々日本の文化と社会の授業もあります。日本語の先生は五人で、この分割はいいと思います。全部はあまり覚えられなかったので、テキストや漢字や文法はちょっと難し過ぎたかも知れません。でも、勉強はよかったです。外の授業の中で一番好きなのは書道だと思います。

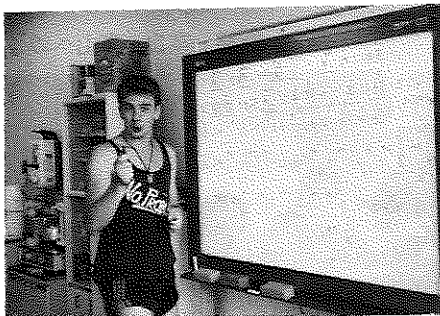
色々な面白いことをしました。例えば、京都や奈良や高山へ行ったり、ヨットセーリングへ行ったり、色々な所を見学したりしました。

私は四回ホームステイをしました。これは日本の家族を知るためにはいい機会です。皆さんはとても優しくかったです。時々、日本語の問題になりましたが、困った時はなかったです。

結局、私はこの間にはとてもよくやってきました。

もちろん、スウェーデンへ帰れば、岐阜の皆がいないので、寂しくなります。

マルティン・タンベルト



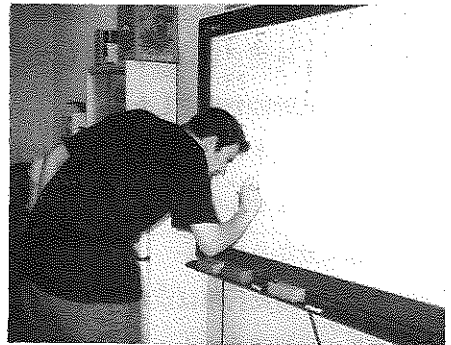
スウェーデンから日本まで飛行機で来ました。岐阜に来る前に私達は東京に三日間いました。東京は私が今までいた町の中で一番大きいです。秋葉原でウォークマンを買いました。金曜日はろっぽんぎのディスコでおどったり、ビールやお酒を飲んだり、カラオケを歌ったり、外国人と話したりしました。土曜日、岐阜に新幹線で来ました。もっと書きたいんですが今日まで宿題

が多過ぎたので時間がありません。この夏はとても楽しかったです。それでもう一度日本に戻ってきたいです。どうもありがとうございました。

私 日本へ旅行する

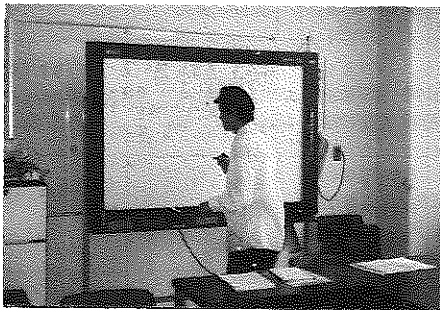
アンダーシュ・ベックルンド

私達は八週間日本にいた。色々な事をした。たとえば旅行をしたり、ヨットセーリングをしたり、見学をしたり、人々に会ったりした。それも僅か八週間というとても短い間に。私は初めて日本へ来てびっくりした。日本はいつも混んでいる。朝と夜、いつも混んでいる。日本の天気は大変だ。雨がたくさん降る。でも本当に蒸し暑い。京都への旅行は面白かった。



日本の印象

マルタ・オンドルス



日本に来る前はちょっと心配でした。家族のことも不安でしたが、それより日本語が上手ではありませんから。それに、その時には、ホームステイの家族は一つだと思いました。だから、お土産を一つしか持って来ませんでした。でも、ホームステイはたくさんでしたから、スウェーデンからプレゼントを送ってもらいました。色々な生活を見ることができたのはよかったと

と思いますが、し方と所と興味は違うから、色々な印象があります。時々自由に住むのもよかったです。そして、一緒に議論したり、洋風の料理も食べたり、飲みに行ったりすることが出来ました。

また、旅行したことも良かったです。勉強で休憩はいれましたが、学校は難しくて、忙しくて、いつも宿題がたくさんありましたから、たいへんでした。宿題をするのに時間がたくさん掛かりましたが、習う時間はありませんでした！

そして、天気とお金も問題でした。日本は世界で一番物価が高い国です。いつもお土産もあげなければなりませんから、お金が早くなくなります。

じゃあ、日本のいる時間は難しいでしたけど、良かったです…

リカルド・スヴァルトヴィック

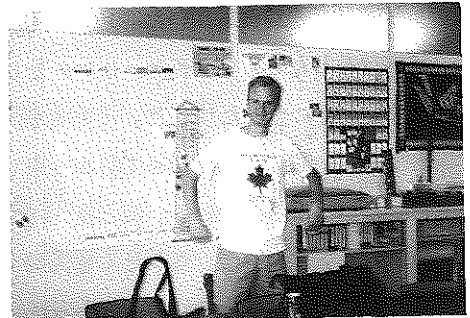
私は6月1日に岐阜へ来ました。コペンハーゲンから東京まで7時間ぐらい掛かりました。

それから新幹線で来ました。

岐阜サマースクールが始まった時に私は日本語がぜんぜん分かりませんでした。まだ下手ですけど今のほうがよく分かります。

一番楽しかった行事は京都のエクスカッションでした。京都では松浦先生と一緒に 1,500ぐらいのお寺と神社を訪問しました。

梅雨だったのに岐阜サマースクールはとても楽しかったです。



'91年岐阜大学サマースクールスケジュール No.1

月	火	水	木	金	土	日
6/3 ルンド8週間コース ガイダンス 10:00~12:00 第6集会室 [松尾 藤井, 佐藤 朝田, 留学生係]	6/4 日本語授業《加藤》 第5集会室《後藤》	6/5 日本語授業《加藤》 第5集会室	6/6 日本語授業《及川》 第5集会室 WELCOME PARTY (学長主催) 18:00~20:00 リン・レックライン先生 13:30	6/7 日本語授業《中島》 第5集会室	6/8 Optional Tour Yacht Sailing →→→	6/9
6/10 日本語授業《後藤》 第5集会室 大井セミナー参加 《大井 修三 教授》 15:10 ~16:50	6/11 日本語授業《加藤》 第5集会室《後藤》 日本の音楽《華曲》 《三輪 知之 講師》 13:00 ~15:00	6/12 日本語授業《加藤》 第5集会室	6/13 日本語授業《及川》 第5集会室	6/14 日本語授業《中島》 第5集会室 附属小学校見学 13:30 [朝田, 通訳: 堂田] Homestay	6/15 休み Homestay	6/16 休み Homestay
6/17 イクスカッション ガイダンス 10:00 ~12:00 第5集会室 [松浦, 松尾, 坂本, 藤井]	6/18 仏像と仏教について 《小澤 克彦教授》 10:00 ~12:00 第5集会室	6/19 奈良・京都研修 奈良 (京都 泊) 8:20集合 8:35出発 [松浦, 坂本]	6/20 京都 (京都 泊) [松浦, 坂本]	6/21 京都→岐阜 [松浦, 坂本]	6/22 休み	6/23 休み
6/24 教養部英語クラス参観 《中川 優子 講師》 11:00 ~12:40	6/25 県立博物館にて 岐阜県の伝統産業 10:00 ~12:00 14:00 ~16:00 見学 《川瀬 善忠学芸員》 [通訳: 青木]	6/26 乗鞍研修 (平湯 泊) 9:20集合 [松浦, 松原]	6/27 上高地 (高山 泊) [松浦, 松原]	6/28 高山→郡上八幡→岐阜 17:20 帰校 [松浦, 松原]	6/29 休み	6/30 休み

'91年岐阜大学サマースクールスケジュール No. 2

月	火	水	木	金	土	日
7/1 日本の経済と農業 《杉山 道雄 教授》 13:30 ~15:00 第5集会室 Homestay	7/2 サッポロビール研修 8:30 集合 9:00 出発 17:00 現地解散 [松浦] Homestay	7/3 日本の企業活動と その特徴 《河部 光広 講師》 10:00 ~12:00 第5集会室 Homestay	7/4 オオクマ(株)研修 10:00 集合 10:15 出発 15:40 帰校 Homestay	7/5 休み Homestay	7/6 休み Homestay	7/7 休み Homestay
7/8 日本語授業 《後藤》 第5集会室	7/9 日本語授業 《加藤》 第5集会室 《後藤》 書道クラス 《辻 太 講師》 13:30 ~15:00	7/10 日本語授業 《加藤》 第5集会室 書道クラス 《辻 太 講師》 13:30 ~15:00	7/11 日本語授業 《及川》 第5集会室 リン・レック・ライン先生との MEETING 13:30 ~	7/12 日本語授業 《中島》 第5集会室 日本の地震について 《金折 裕司助教授》 13:30 ~15:00 Homestay	7/13 休み Homestay	7/14 休み Homestay
7/15 日本語授業 《河地》 国際交流室	7/16 日本語授業 《及川》 国際交流室 近代日本農民史 《堀内 孝次 教授》 13:30 ~15:00	7/17 日本語授業 《後藤》 国際交流室 書道クラス 《辻 太 講師》 13:30 ~15:00	7/18 日本語授業 《河地》 国際交流室 書道クラス 《辻 太 講師》 13:30 ~15:00	7/19 日本語授業 《中島》 国際交流室 Homestay	7/20 休み Homestay	7/21 休み Homestay
7/22 日本語授業 《河地》 国際交流室	7/23 日本語授業 《及川》 国際交流室 《加藤》	7/24 日本語授業 《河地》 国際交流室 《中島》 日本の古典演劇 《西澤 康夫 教授》 13:30 ~15:00	7/25 日本語授業 《河地》 国際交流室	7/26 FAREWELL PARTY 18:00 ~20:00 柳戸会館 [クラブ・交流室]	7/27 休み ランド8週間コース 終了	7/28 休み

おかげ様で大きなケガや病気に泣かされることもなく彼らはたくさんの思い出を笑顔に替えて岐阜を去って行きました。これもひとえにサマースクールを支えてくださった多くの方達のおかげだと感謝しております。

この場を借りてサマースクール実施前からスケジュール調整等で御尽力頂いた関係者の皆様、および期間中お世話になったホストファミリーの方々に、心より御礼申し上げます。



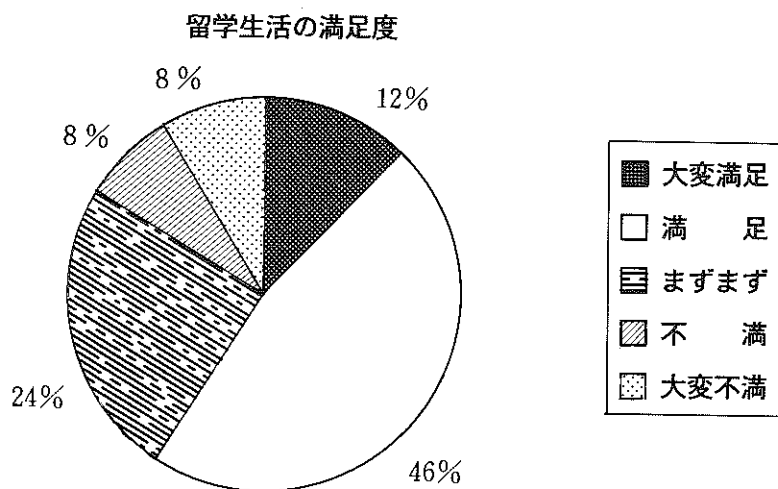
《投稿コーナー》 PART 1

－『満足』のなかの『不満足』－

教養部生物学 中 村 勝 人

日本における各分野の最先端を学ぶために訪れている留学生の皆さんは、この岐阜大学での生活をどのように思っているのでしょうか？ いくつかの資料と留学生との雑談の中からその一端を拾ってみたいと思います。

日本で専門知識や資格を得ることの有効性に対する認識はどうでしょうか。本学の留学生を対象にしたアンケートでは、約半数の学生が日本で専門知識や資格を得ることが母国で高く評価されると答え、逆に、全く評価されないという解答はありませんでした。その一方、留學生活の満足度に関するアンケートの結果は下図のようになっています。この結果を少々強引にまとめてみると、「まずまず満足してはいるが、困ったことも結構あるな」ということになるのでしょうか。



そこで、『困ったこと』を具体的に話してもらいました。

「講義は、新しい知識を吸収する貴重な場ではあるが、日本語で行われる講義の内容を理解するのだけでも難しい。そればかりでなく、日本の講義は教官が一方的に話しをしているようで、折角、興味や疑問に思ったことをその場で質問することができない（雰囲気がある）ので残念だ。」
「寮生活は日本人学生との深い交流ができてとても有意義ではあるが、専門課程（当人は医学部生です）に進んだ場合、実験等で帰宅が遅くなった時の交通手段がない。また他にアパートを借りるにしても費用が高い。」など、当人は現在の留學生活を『大変満足』であるといっていまし

たが、それでもこの他に『困ったこと』がまだあるそうです。

こういったことから推測されるように、すべての留学生の皆さんは多かれ少なかれ、このような『満足』と『不満足』を持ち合わせているようです。そのような留学生の身近な話し相手でもある『チューター』の存在は、『満足』と『不満足』の間を揺れている留学生の心の針をよりよい方向へと調節する『チューナー』であると言えるのではないのでしょうか。

《投稿コーナー》 PART 2

私達にできること

1990年度国際交流会館チューター 白井浩司

留学生といっしょに生活する日本人として、彼らに何をしてあげられるか、私はこのことを一年を通して考えてきました。一年間のチューターの仕事を終えた今、それは、“特別に何かしてあげる”ことではなく、普通に彼らといっしょに生活することではないかと考えています。

“特別に何かしてあげる”とはどういうことでしょうか？ここで、来週から一週間、みなさんの家庭に留学生がホームステイに来ることになったとしましょう。「さあ、どうしたものか。食事はどんなものを出してあげたらよいだろう。土、日は〇〇に連れて行ってあげようか。平日の夜はどうしようか。〇曜日の予定は中止にして家に居ようか。」というようなことを多くの人が考えたのではないのでしょうか。

国際交流会館の留学生もよく週末、ホームステイに出かけます。私が「どうだった」と尋ねると、彼らからは一様に「楽しかった、とても親切だった」という答が返ってきました。短いホームステイでは特にそうなのですが、ホストがあまりに用意周到であるため、留学生は受け身になりがちで、情報の流れが、一方通行になるようです。

新聞やTV等で日本人は外国人に対してとても親切であるという声を耳にしたことがあると思います。それは私達の中に“お客さん”という意識があるからではないのでしょうか。しかし、留学生はある用事のために訪ねてくるお客さんとは違うのではないのでしょうか？

私のいう“特別に何かしてあげる”というのは“お客さんだから”という意識、とも言えます。

“特別に何かしてあげる”ことにより相手は“ありがとう”と言うでしょう。それを聞いて私達は“自分達のやっていることは正しいんだ”と安心します。しかし“ありがとう”という言葉は、情報が一方通行になる前の1つのサインでもあると私は思います。

私は何人かの留学生から日本人はある距離をおいてしか接してくれないという話を何度か聞きました。彼らの感じている距離というのは、“特別に何かしてあげる”と“ありがとう”というもの

が、原因の1つではないかと私は考えます。

用意万端備えたパーティーで人をもてなすことは簡単であり、ある意味お互いに楽しい時間を共有できる、しかし、今彼らが求めているものは、それだけではないようです。パーティーが終わった後に内輪だけで、くつろぐような時間、場所に、彼らの席も用意して下さい。思いがけず、楽しい話ができると思いますよ。

時 間 割 1991年度 前期 (平成3年4月15日～平成3年9月20日)

	月	火	水	木	金
9:10	1 初級日本語クラス1 (中島) (テキスト) 上級日本語クラス① 河地	初級日本語クラス3 及川 (テキスト) 中級日本語クラスII 後藤 (総合)		初級日本語クラス5 河地 (漢字)	初級日本語クラス7 加藤 (文法・まとめ) 中級日本語クラスV 後藤 (総合)
10:40 10:50	2 初級日本語クラス2 加藤 (文法・まとめ) 中級日本語クラスI 河地 (作文)	初級日本語クラス4 及川 (テキスト) 中級日本語クラスIII 中島 (漢字)		初級日本語クラス6 中島 (テキスト) 中級日本語クラスIV 河地 (読解)	中級日本語クラスVI 加藤 (文法・まとめ)
12:20		◇英語講座(事務員) (12:00～13:00)	◇ポルトガル語講座		☆英会話クラス (12:30～13:30)
13:30	3 医学部上級日本語クラス 及川 (13:00～14:30)			医学部上級日本語クラス 後藤 (13:00～14:30)	上級日本語クラス② 加藤
15:00 15:10			【言葉の勉強会・廣田】		
16:40	4 医学部中級日本語クラス 加藤 (14:30～16:00)			医学部中級日本語クラス 中島 (14:30～16:00)	

◇…外国語教育

◇中国語講座(17:00～18:00)

前期授業 (Spring Semester)
4月15日(月)～9月20日(金)
夏休み (Summer Vacation)
7月13日(土)～9月1日(日)

※ 1991年度後期の日本語授業についての時間割は9月下旬詳細が決まります。
国際交流室(内線 2380)までお尋ねください。

今年は比較的涼しく“あー夏も終わりだな”という気分が今ひとつ盛り上がりませんが、皆様の“'91, 夏”はいかがでしたでしょうか。

例年より発行が少しばかり遅くなりましたが、ニューズレターの12号をお届け致します。ルンド大学の一行が去ると秋はもうすぐそこ。10月には新しい留学生も増え一段と忙しくなります。夏バテなんかしてるヒマはありません。がんばりましょう。 TOM

発行 岐阜大学国際交流室
〒501-11 岐阜市柳戸1-1
☎(0582) 30-1111
内線2380/2381
編集 丸山清史・中島智巳